

2019年度第4回高知県言語聴覚士会理事会

日時 2019年8月7日(水) 19:00~20:30

場所 いずみの病院

出席 西田 石川 池 川上 谷本 中平 野田 森下 山本(光) 山本(理) 横畠 吉村 若林
矢野(書記)

欠席 小松 高野

【検討・報告事項】

1. 巡回相談派遣事業

- ・現在、派遣員は13名。新規派遣員には巡回相談事業の流れ・STの役割について理解し参加してほしい。県士会としても質的保証をしていきたい。
- ・派遣員の基準は丸5年以上の経験者とし、①地域福祉部主催の研修会の受講、②最初は経験のある派遣員が個別に引率対応、③東・幡多・中央の地域ごとの勉強会(模擬練習)への参加、の段階を踏むこととする。
- ・研修会開催；講師は高知県教育委員会土居氏、訪問看護ステーション下元氏。日時は2019年9月29日10時~12時(受付9:30~)。場所は高知リハビリテーション専門職大学5階。
- ・新規派遣員は理事から推薦し、協力依頼の文書を郵送する。
- ・模擬練習の勉強会はまずは中央で実施し、地域ごとの開催は今後検討する。

2. 高知県言語聴覚学会

- ・講師依頼；近森リハビリテーション病院和田院長に打診している。
- ・日程；2020年3月1日
- ・準備の流れ；9月に第1報郵送、11月3日演題締切、12月1日抄録締切、2020年1月第2報・抄録配布

3. 高知県災害リハビリテーション研修会

- ・研修会案内は各施設に配布されている。
- ・協会の生涯学習ポイント取得対象研修会として承認を受けている。領収書兼参加証明書は教育部で作成する。

4. 生涯学習基礎講座・専門講座

- ・基礎講座；協会に申請し承認待ち。日程は2019年10月20日(日)9:30開始。場所は高知リハビリテーション専門職大学。講師は西田会長、石川副会長、矢野理事。案内は8月中旬に発送予定。施設のFAX返信用紙を使用するためコピー用紙を1冊購入し施設へ渡すようにする。
- ・専門講座；佐藤先生にあたる。3/1の学会に難しければ基礎講座2回目に合わせる。

5. 会報編集部

- ・部会ミーティング；6/20の18:00~19:00。会報120号の校正作業を実施。→承認。

6. 地域福祉部

- ・7/24に県との協議を行った。担当者からは2020年度には失語症向け意思疎通支援者養成講座の開催、2021年度から支援者の派遣ができるように動いていきたい意向が示された。県士会に対し、予算請求や市町村の協力体制を整えていくにあたり失語症者の市町村別分布を知るための実態調査を行ってほしいこと、派遣の際に失語症者と支援者とのマッチング等に協力してほしいとの話があった。予算請求のため予算案を10月まで作成するとのこと。支援者養成事業は県、派遣事業は市町村が行うことになっているが、高知市が政令指定都市であるため共同開催できるよう県から話をしていくとのことであった。
- ・実態調査；会員へのアンケート形式で行う。現在関わっている患者について居住地区、年齢、発症からの期間別の人数と日常の困りごとについての聞き取ってもらう。施設宛に送付し、失語症患者数がだぶらないように記載してもらい、施設ごとにまとめて返送してもらう。
- ・実習先についてはピアサポートグループ、失語症者の利用があるデイサービス、失語症友の会などに協力を依頼する。
- ・支援者養成講座；規模は20名程度、講義12時間(2日間)、実習28時間(4日間)で行う。場所は検討。
- ・協会の指導者養成研修には県の予算で若林理事、県士会の予算で山本(理)理事が出席予定。
- ・例年実施してきた会話パートナー養成講座を今年も2回行う予定。→来年の講座開催が確実にできれば実施しなくてよいのでは。検討。

7. 渉外部

- ・部会ミーティング；7/9の17：30～19：00第1回福祉総合フェアのブース内容の検討。7/13の9：00～17：00第1回福祉総合フェアへの参加。→承認。ふくしフェアに1日いた人は1600円、半日は800円渡す。
- ・第1回福祉総合フェア；全体では3日間で2000名程度の参加。STのブースにきてくれた人は10名であった。うち8名は高齢者、2名は進路相談であった。業者と話すよい機会となった。来年度も参加するか？ブース工夫して参加継続する。今回はポケットティッシュを配布したが来年は名前入りを作成するか検討する。配布用のチラシはA4サイズ1枚さ作成するよう検討。第3回運営ミーティングで振り返りがある。
- ・言語聴覚の日事業；福祉総合フェアの参加を考慮し来年は時期をずらして実施することを検討する。今年には言語聴覚の日事業としては行わず、イベントで使用する宣伝資料を作成する。のぼりや看板など検討する。

8. 事務局

- ・研修会依頼；
 - ① 認知症の人と家族の会；認知症患者や家族との関わりでの効果や課題について職員向けの研修依頼。→石川副会長が窓口。
 - ② ホップあきの会；重症心身障害者・自閉症者の摂食介助につて難渋しており、食に対する意欲や動機付け、実際の食べ方や介助について職員向けの研修依頼。→池理事が窓口。個人的なことではなく一般論からの研修でることの断りしておく。
- ・休会；会員から県外に一定期間転居することになり、休会したいとの相談があった。休会という制度はないが帰高後会費をもらうようにする。
- ・国リハから研修会案内；ホームページに掲載。

9. 財務部

- ・領収印作成する。

10. その他

- ・法人化；検討していく。
- ・グーグルフォーム；高知リハで情報収集していく。次回理事会で報告したい。

次回 2019年9月4日(水) 19：00～ いずみの病院にて